



# 施策マネジメントシート(2022年度の振り返り、総括)

作成日 2023 年 6 月 6 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じられるまち	主管課	名称 地域整備課	
			課長	林 昇	
施策	9	道路の安全性と利便性の確保	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	町内の道路利用者	安全に道路を利用できる。		1 道路整備の推進・促進 2 道路の安全性の確保 3 冬期間の道路網の確保 4	町内の道路利用者 ①町内の道路利用者 ②道路施設 町内の道路利用者

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の補修や橋梁の長寿命化を計画的に実施し、併せて道路愛護作業等による道路の適正な維持管理に努めます。</li> <li>道路施設の健全化を図るとともに、都市計画道路未整備区間を早期開通させ、道路の利便性の向上を図ります。</li> <li>迅速な除排雪や消融雪施設の適正な維持管理を行うとともに、住民自らが行う除排雪作業を推進し、冬期の円滑な交通の確保に努め、事故や通行止めの発生を抑制します。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	町内の道路に不便を感じている町民の割合/道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合	%	実績値	50.3/63.5	53.7/56.3	53.4/56.3	50.2/50.4	48.7/51.3	53.0/52.2
目標値					48.0/60.0	47.0/58.0	46.0/56.0	45.0/54.0	44.0/52.0	43.0/50.0
B	道路改良率/都市計画道路改良率	%	実績値	37.4/32.0	37.6/34.8	37.7/37.4	37.7/37.4	45.5/37.4	45.6/74.8	45.6/74.8
			目標値		37.6/34.8	37.6/37.4	37.7/37.4	37.7/37.4	37.8/37.4	37.8/42.0
C	道路に関する情報・苦情件数(夏期/冬期)	件	実績値	130/219	30/101	26/59	113/29	203/234	30/139	83/105
			目標値		130/195	125/190	120/185	115/180	110/175	105/170
D	冬期間における交通事故発生件数	件	実績値	275	257	228	191	164	222	176
			目標値		250	240	230	220	210	200
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方	<p>A) 直接的な設問であり、数値が低くなれば、目的が達成できていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合 ※道路の除排雪・消融雪に不満を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合 B) 数値が高くなることにより、道路利用者が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。 ※道路改良率:道路台帳道路総括表より実数を把握 都市計画道路改良率:主管課で把握 C/D) 道路に関する情報・苦情件数及び交通事故発生件数については、殆どが冬場の積雪・凍結関係であることから、件数が減少することは道路の安全性・利便性の向上に繋がると考え成果指標とした。(夏期は4月～11月、冬期は12月～3月とする)</p>
----------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 町内の道路に不便を感じている町民の割合については、毎年、計画的に地域の主要路線の改良を進めていること、また都市計画道路の未開通区間の一部が整備されることにより、若干の向上は見込まれるが、地域による道路愛護作業において、従事する町民の高齢化、人口減等により、日常的な維持管理が十分でなくなる事が想定されるため。 B) 道路改良率、都市計画道路改良率については、後閑路線の予定区間が完了する予定であること、都市計画道路の未着手区間の一部(悪戸矢瀬線)の開通が見込まれる事から若干向上が見込まれる。 C) 道路に関する情報・苦情件数については、町道の舗装が経年劣化により全体的に傷んできていることから、成り行きでは件数は増加すると思われるが、補修・維持管理(事業化・直営等)を適正に実施することにより、目標値を設定する。また、冬期間の情報・苦情件数については、前記と同じく、地域人口の減少・高齢化等により除雪に対する要望が増加することが想定されるが、除雪機械の整備・更新を適正に行い、またオペレーターの確保に努めると共に、地域除雪の協力体制を拡充することにより、目標値を設定する。 D) 冬期間の事故発生件数については、冬期間の交通の安全確保に努めるとともに、町ホームページにリンクしている気象情報ライブカメラ、除雪車両マップ等の情報を、今後より多くの方に利用してもらうことにより、道路状況に応じた運転を心がけてもらうことにより件数は減少すると見込んでいる。</p>
-----------	--

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。</li> <li>地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。</li> <li>道路の危険箇所などを通報するとともに、雪道では特性を理解した運転に心がける。</li> <li>地域ぐるみで除雪体制を考え、地域除雪に協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に道路の整備を行う。</li> <li>道路・橋梁等の道路施設の適切な維持管理を行うとともに、ホームページを活用した情報提供を行う。</li> <li>道路愛護活動のための支援を行う。</li> <li>降雪状況を把握して安全で迅速な作業(除雪、消融雪、凍結防止剤散布)を実施する。</li> <li>除雪作業に必要な協力の呼びかけ(PR、広報)を行う。</li> </ul>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少・高齢化が進むことで、これまで道路等の維持管理及び除雪に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。</li> <li>道路施設の点検・整備・補修については、半永久的に継続される事業であることから、計画的な事業を進めるための事業費の確保が必要となる。</li> <li>都市計画道路の開通により、道路利用者が分散され、渋滞緩和・移動時間の短縮が図られる。</li> <li>除雪車両については、交付金を活用し計画的に更新を進めていくが、更新に膨大な費用を要することが見込まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民の半数以上が町内の道路に不満・不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとはいえない。特に、「道幅が狭い」、「道路が暗い」、「除雪状況が悪い」との意見が多く寄せられている。</li> <li>都市計画道路真政悪戸線徒渉橋開通により、利便性の向上が図れたが、残り区間、悪戸矢線及び真政工区(老人センター～17号バイパス)の早期完成が望まれている。</li> <li>地域除雪の取り組みについての必要性。</li> </ul>

施策	9	道路の安全性と利便性の確保	主管課	名称	地域整備課
				課長	林 昇

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①町内の道路に不便を感じている割合は令和2年度48.7%、令和3年度53.0%、令和4年度55.3%と前年度に比べ2.3ポイント増加した。また、道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は、令和2年度51.3%、令和3年度52.2%、令和4年度51.6%と昨年度に比べ0.6ポイント減少した。 ②道路改良率は、令和2年度45.5%、令和3年度45.6%、令和4年度45.6%であった。また、都市計画道路改良率は、令和2年度37.4%、令和3年度74.8%、令和4年度74.8%であった。都市計画道路については、4路線の廃止と悪戸矢瀬線の完成に起因する。 ③道路に関する情報・苦情件数のうち夏期は、令和2年度203件、令和3年度30件、令和4年度83件であり、冬期は、令和2年度223件、令和3年度139件、令和4年度105件であった。令和2年度の夏期については9月の豪雨の影響による。令和2年度の冬期は12月の豪雪の影響による。 ④冬期間における交通事故発生件数は、令和2年度164件、令和3年度222件、令和4年度176件であった。
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	町の道路改良率は45.6%であり、令和4年県内市町村における道路改良率の平均50.5%を4.9ポイント下回っている。なお、道路改良率は道路延長が短く人口が集中している都市部で高い傾向にある。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町の改良率が45.6%（実延長1,103.9km）であるのに対し、沼田市50.4%（1,394.3km）、片品村40.8%（361.1km）、川場村60.9%（162.2km）、昭和村44.9%（528.4km）となっている。
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①町民アンケートによる「町内の道路で不便を感じている町民の割合」は、55.3%となり、目標の43.0%を下回った。また、「道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は」51.6%であり、目標の50.0%を若干下回った。 ②道路改良率は、45.6%であり、また、都市計画道路改良率は74.8%となり、目標を大きく上回った。 ③道路に関する苦情件数は、夏期83件・冬期105件であり、目標値夏期105件より少なく、また、目標値冬期170件との比較においても少なく、目標を上回った。 ④冬期間における交通事故発生件数は、176件で目標値200件より少なかったため、目標を上回った。	

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名		単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1	道路整備の推進・促進	A	町内特定区間の距離及び所要時間(月夜野IC～保健福祉センター～上毛高原駅～水上IC)			km/分	実績値	実績なし	12.6/20	12.6/20	12.6/20	12.6/20
目標値						12.5/20		12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.0/15	
B		実績値											
		目標値											
2		道路の安全性の確保	A	道路施設(橋梁)点検済み率/補修済み箇所数	%/箇所	実績値	25/12	83/15	100/17	28/19	46/22	71/23	83/24
						目標値		80/15	100/17	20/20	40/23	60/26	80/30
B	実績値												
	目標値												
3	冬期間の道路網の確保	A	冬期間の通行止め件数	件	実績値	0	0	0	0	1	1	0	
					目標値		0	0	0	0	0	0	
B	実績値												
	目標値												

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)	
	1	道路整備の推進・促進	各種重要路線の道路改良事業について、早急に整備を進める。なお、都市計画道路については、都市計画決定の変更や用途変更の手続きが必要となるため、群馬県等の関係機関と協議を実施していく必要がある。	①都市計画道路真政悪戸線の改良事業を実施する。 ②町道後閑1号幹線の道路改良事業を実施する。
	2	道路の安全性の確保	①道路の狭あい部分を解消する。 ②橋梁等の道路構造物の安全性を確保する。 ③公開型GISの更なる利便性向上を図る。	①町道月夜野71号線の狭あい部分を解消する拡幅工事を実施する。 ②橋梁、トンネル、スノーシェッド、法面の点検を行い、その結果に基づき必要となった補修等工事を実施する。 ③道路台帳図を毎年更新し、道路情報や観光情報など公表可能なものを随時公開していく。
3	冬期間の道路網の確保	①消融雪施設の経年劣化に伴う機能低下の改善を図る。 ②除雪作業従事者の確保を行い冬季の安全な道路を確保する。 ③除雪機械等道路維持車の老朽化に伴う維持費の拡大を抑え作業効率を図る。	①消融雪施設について、交付金事業の活用を視野に入れ計画的に更新工事を進めていく。 ②冬期間のオペレーター・助手については、建設業界における人員不足の中、雇用体系及び待遇等の改善を行い年間及び季節雇用の応募方法・時期等の検討を行い人材確保を目指す。 ③社会資本整備交付金事業を活用した除雪機械等道路維持車両の更新に加え、小型除雪機の計画的な入れ替えを行う。	

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000013	パークアンドライド管理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	30,000 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	月夜野情報ターミナル駐車場を維持管理するための委託業務				事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保					駐車場の草刈り、ゴミ拾い作業の回数		
組織名		総合戦略 課		企画 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 2 項 1 目 10	課題なし				令和 3年度	令和 4年度	単位
								2	3	回

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	国・県等土木施設整備促進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	4,000 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県が実施する事業の要望活動の実施。</li> <li>・県土木事務所へ要望している事業の実現に向けて、県、町、町議との意見交換を目的とした土木行政懇談会の開催。</li> <li>・高速道路に架かる橋梁整備の事務局としての構成市町村等の調整事務等</li> </ul>		会議の書面開催を実施できなかった。		事業実績		
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					懇談会開催回数		
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 8 項 1 目 1	単年度では解決しない案件もあるため、継続して活動していくことが望まれる。		今後も継続的に、円滑に事業を進める。		令和 3年度	令和 4年度	単位
								1	0	回

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	土木工事設計積算事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,101,246 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	(財)群馬県建設技術センターからの通知を受け、積算システム更新の案内や使用機器の調査を行う。製図システム保守の取り扱いを行う。積算歩掛等の購入。		システムを利用している各課と連携を図った。		事業実績		
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					積算システムを利用して発注した件数		
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 8 項 1 目 1	課題はないが、道路事業を実施するためには継続する必要がある。また、CADについてはLG-WAN対応となるため、事業費が増える。		今後も事業を継続的に、円滑に進める		令和 3年度	令和 4年度	単位
								100	100	件

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	土木総務費負担事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	552,800 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて道路網等の整備促進を図る。H29年度より事務事業を1本化した。		要望内容の再確認。		事業実績		
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					総会開催数(みなかみ町が主体で行う)		
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 8 項 1 目 1	継続して活動することが必要である。		引き続き活動に参加する。		令和 3年度	令和 4年度	単位
								4	2	回

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	道路愛護活動事業	① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	11,730,597 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	道路の環境美化を通じて公共福祉の増進と道路愛護意識の高揚を図るため春と秋の年2回、地区の住民による道路の清掃並びに修繕に対し支援を行う。				地域の実情に応じた計画的な実施をご検討くださるよう、各行政区長、及び町ホームページにてお知らせをした。			事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保								道路清掃延長			
組織名			地域整備 課	土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	1	・任意保険加入の推進を図る。 ・作業に伴う安全管理の強化について周知する。		今後も継続していく。			379	450	km

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	道路維持管理事業	① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	63,698,954 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	パトロールや地区住民の方などから危険箇所の情報収集に努め、道路などの破損箇所を早期に補修し、住民生活に及ぼさぬよう道路などを常に良好な状態に保つよう維持・補修を行う。				道路構造物等の必要な箇所について、修繕を実施した。			事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保								修繕作業委託箇所数			
組織名			地域整備 課	土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	2	道路など公共土木施設のパトロール強化。		公共土木施設の維持管理は、必要不可欠であり、今後も継続的に事業を実施していく。			42	48	箇所

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	三峰トンネル維持管理費負担事業	① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	11,117,455 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	望郷ライン三峰トンネルの維持管理について、事務を沼田市に委託し、延長割りで負担金を支払うもの。				2市町にまたがるトンネルのため、沼田市との経費負担の調整に取り組んできた。			事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保								トンネルの長さ			
組織名			地域整備 課	土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	2	電気代等の通常の維持管理経費に加え、様々な機器の更新費用が嵩む。		適正な維持管理に資するよう、沼田市と緊密な連携を図っていく。			1605	1605	m

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	道路ストック総点検・老朽化対策事業	① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	175,673,187 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	平成24年に発生したトンネル天井版落下事故を受け道路法等の改定により道路管理者に適切な維持管理が示され道路構造物が機線の道路事故が起これないように適切に維持管理する事を目的とする。 各種道路構造物を点検し、危険箇所について計画的に補修工事などの対策をとる。				現場を良く精査した上で、適正な施工管理に努めた。			事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保								点検箇所数・補修設計数・補修工事数			
組織名			地域整備 課	土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	2	計画的に定期的な維持管理を必要とする		今後も継続して、円滑に事業を実施していく。			0・1・8	1・0・11	箇所

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	単独道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	44,031,169 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			補助事業に該当しない小規模道路改良工事に伴う不動産鑑定評価業務、土地等売買契約、分筆・所有移転登記等工事等に向けての準備作業及び工事業務を行う。			早期に発注し、適正な施工管理に務めた。			事業実績	
	基本事業	02	道路の安全性の確保									当年度実施済道路延長	
		② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					令和 3年度	令和 4年度	単位	
組織名		地域整備 課			土木 係					336	196	m	
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	3				
					事業費の確保が必要となる。			今後も引き続き、円滑に事業を実施していく。					

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	町道真政線整備事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	12,507,812 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			JR上越線と交差する国道17号から望郷ラインを結ぶ道路整備。			道路整備及び踏切整備。			事業実績	
	基本事業	01	道路整備の推進・促進									当該区間の改良率	
		② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					令和 3年度	令和 4年度	単位	
組織名		地域整備 課			土木 係					100	100	%	
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	8	項	2	目	3				
					建物を含む地権者との用地交渉。JR上越線との交差による踏切整備。			用地交換等を実施していく。					

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000024	町道浅地工貫線道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	14,240,463 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			浅地工貫線の道路側溝整備を含めた道路改良を行う。			現場を精査し、また適正な施工管理に努めた。			事業実績	
	基本事業	02	道路の安全性の確保									排水路整備延長・舗装改良延長	
		② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					令和 3年度	令和 4年度	単位	
組織名		地域整備 課			土木 係					0.0・246.7	0.0・240.0	m	
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	8	項	2	目	3				
					道路改良を行う隣接地には、民有保安林があり、杉の木の根が道路改良の支障になる可能性がある。			事業完了。					

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000010	町道関口大原線道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	86,207,863 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町道関口大原線と国道17号の交差点、前後約300mの道路線形改良を行う。			国交省やJR等との協議を実施してきた。			事業実績	
	基本事業	01	道路整備の推進・促進									当年度実施済延長	
		② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					令和 3年度	令和 4年度	単位	
組織名		地域整備 課			土木 係					0	253	m	
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	8	項	2	目	3				
					国土交通省等との協議による成果修正。			一部を令和5年度へ繰越し、事業を完了させる。					

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	町道後閑1号幹線道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	4,200,000 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			国道17号や(主)沼田水上線から望郷ラインへのアクセスを良くするため、町道後閑1号幹線と町道師77号線を直線化する。	地権者等の関係者へ事業のご理解をいただき、また、行政区への説明会を実施した。	事業実績			当年度実施済延長				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進												
組織名		地域整備 課		土木 係			② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	8	項	2	目	3	既設道路との交差角度が悪くなる。また、地権者、隣接者の同意が必要となる。			引き続き事業を円滑に進めていく。		
		令和 3年度		令和 4年度		単位									
		0		0		m									

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000029	町道高日向小日向線道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	13,975,000 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			法面及び舗装の改修事業。	複数回に及ぶJRとの協議を実施し、事業実施まで至った。	事業実績			工事延長				
	基本事業	02	道路の安全性の確保												
組織名		地域整備 課		土木 係			② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	8	項	2	目	3	JR東日本との協議。			今後も引き続きJRと協議を重ね、事業を円滑に実施する。		
		令和 3年度		令和 4年度		単位									
		0		26.2		m									

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	橋梁長寿命化事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	99,378,728 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			既設管理橋梁の定期点検を行い、結果を基に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、必要な補修及び修繕工事を行い長寿命化を図る。	優先順位や平準化を考慮し補修や点検を実施した。	事業実績			橋梁点検数・橋梁補修設計数・橋梁補修工事数				
	基本事業	02	道路の安全性の確保												
組織名		地域整備 課		土木 係			② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	4	長寿命化修繕計画の策定により多額の修繕費用の確保が必要となるが、修繕を怠ると劣化から橋梁が通行不能となるため、新規道路や道路改良以上に優先的な予算投入が必要。			今後も引き続き円滑に事業を実施していく。		
		令和 3年度		令和 4年度		単位									
		120・0・1		67・3・1		橋									

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	道路台帳管理事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	33,140,904 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			道路台帳統合電子化し町道の新規及び改良等による道路台帳等更新及び地理情報システムの保守管理に係るもの。	関係各課に地図情報の更新に必要な情報提供依頼・連絡を密に行っている。定期的にGIS利用促進に係る情報提供や研修を実施している。	事業実績			新設、改良路線数・廃止路線数				
	基本事業	02	道路の安全性の確保												
組織名		地域整備 課		用地・管理 係			② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	1	道路台帳等の変更に係る更新に漏れがないよう注意する必要がある。地図関係事務の合理化を推進するため、職員に対し継続してシステム利用促進を図る。			常に新しい情報が閲覧できる状態を継続できるよう周知や教育を徹底していく。また、一般向けに公開するGISの利便性向上を図る。		
		令和 3年度		令和 4年度		単位									
		46		59		本									

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	道路内民地未処理案件解決事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	613,800 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	町道の敷地内にある個人名義の土地について、公共用地として取得し管理を適正に行えるようにする。		地権者の要望にはできる限り早く対応できるよう関係職員と連携を図っていく		事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					道路内民地を町名義に登録した件数					
組織名		地域整備 課		用地・管理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	1	令和 3年度	令和 4年度	単位
						様々な理由で道路内民地が発生しており過去の経緯が不明な場合、事務処理に時間を要することが多い					6	8	件

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000012	狭あい道路拡幅整備事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	11,121,689 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	・町道野田原箕輪線 道路拡幅工事 ・町道月夜野71号線 道路測量設計業務・土地価格評価・登記業務・用地買収・支障物件移転補償・道路拡幅工事		令和4年度に町道月夜野71号線道路拡幅工事に係る測量設計、用地取得を行った。全施工延長が50.0mと短いので、短期間で令和5年度に工事が完成がする見込みで進めた。		事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					狭あい道路事業延長					
組織名		地域整備 課		用地・管理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	8	項	5	目	1	令和 3年度	令和 4年度	単位
						令和6年度で交付金事業が終了する見込みであり、今後の路線要望への対応が課題となる					243.5	50.0	m

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	町道悪戸矢瀬線整備事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	93,452,700 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	悪戸矢瀬線の未整備区間の道路整備(L=380m) 道路防護網の設置(利根商野球場)		本線及び防護網においては、令和4年4月1日に全線開通することが出来た。残りの蟹杵団地への取付道路については、繰越事業にて令和4年度で完成することが出来た。		事業実績					
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					道路整備延長					
組織名		地域整備 課		都市計画 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	8	項	4	目	2	令和 3年度	令和 4年度	単位
						令和4年4月1日のみなかみ中学校開校までに工事を完了させる予定であるが、工期が厳しい状況にある。					0	597.0	m

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	町道真政悪戸線整備事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	4,290,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	町道真政悪戸線(総延長2,420m)の未整備区間(延長1,145m)の整備を行い全線開通させる。		当初予算計上していなかったため、補正対応し令和5年3月に測量・予備設計が契約となり、繰越事業で測量設計を進めることが出来た。		事業実績					
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					道路整備延長					
組織名		地域整備 課		都市計画 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策					
事業期間		継続事業	会計	1	款	8	項	4	目	2	令和 3年度	令和 4年度	単位
						平成29年11月に概略設計を行ったのみで、事業が進んでいない。					0	0	m

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	道路除排雪事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	167,252,834 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			道路に降った雪の除排雪を行い町民や来町者等道路利用者が安全で安心して通行できる道路を提供するため、除雪作業方法の選択や契約・現場管理に関する事務、及び破損箇所の修繕業務	今年度も、直営のバートルを2名委託契約を行い、消融雪施設の稼働のオンオフをこまめに行い、電気や燃料の削減に努めた。直営のオペレーターは、役場職員の負担に依存するところが大きく、助手も含め冬期募集の作業員確保は難航した。例年になく降雪量が少なく、委託料が前年度の73%となるなど、道路除排雪事業は前年度比67%程になった。	事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					臨時職員の作業日数 ・除雪委託業者数 ・地域支援除雪団体			
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	除雪経費削減。 直営オペレーターの確保	職員数も減り、応募しても中々集まらない、直営路線のオペレーター・助手の確保が大きな課題である。	令和 3年度	令和 4年度	単位
								90・14・5	91・14・5	日・者・区	

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	除雪機・除雪車等維持管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	24,135,698 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町が所有する除雪作業用重機・車両等の維持管理事業	除雪機械の車検整備及び一年点検整備を、可能な車両については町内業者において実施することで、経費の縮減を目指した。	事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					保有台数・借上機械数			
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	車両の老朽化に伴う車検、一年点検時における経費の増加	引き続き、取組の検証を進める。	令和 3年度	令和 4年度	単位
								43・0	43・0	台	

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	消融雪施設維持管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	103,058,137 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			消雪・融雪施設の維持管理業務。【燃料・電気料、修繕・工事、施設及び電気設備管理委託、消雪施設電気料負担金】	2名のバートルを委託し、消融雪設備の電源管理をこまめに行い、光熱水費の削減に努めた。施設の老朽化に伴い、維持修繕14カ所、維持工事を5カ所実施した。	事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					散水施設箇所数・無散水施設箇所数			
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	施設の通常経費の増加及び老朽化に対する維持費の増加	従前通り、シーズン前の施設点検を確実に実施すると共に、突発的なトラブルに対応できるよう、委託業者の緊急連絡網を確認すると共に、基本的な対処法を直営で共有する。	令和 3年度	令和 4年度	単位
								16・26	16・26	箇所	

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	除雪機・除雪車等整備事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,478,000 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			除雪作業用重機・車両等の購入事業	計画的な買い替えとして、除雪機械2台を購入したが、半導体不足やコロナウイルスの影響により年度内納車が出来ず、繰越により6月納車となった。	事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					購入機械台数			
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	老朽化した車両が多いため、計画的な買い換え並びに廃車を行い、適正な車両台数を確保する。	購入計画に基づき、買い替えを行っていく。その際、納車時期を確認の上、早めの手続きを心がける。	令和 3年度	令和 4年度	単位
								2	2	台	



令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	気象観測システム管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	9,533,349 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			平成25年度に気象観測局の設置、情報の収集・発信を行う観測装置の維持管理及びホームページに関する機器のメンテナンス	観測結果の安定した配信を維持するために、OS更新のための環境調査を行った。	事業実績		
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					年平均月間利用者数		
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	55000	48000	人	
管理面積の広いみなかみ町では、全体的に気象観測をする事が非常に困難であるために導入されたシステムであるが、機器の機能維持及び、町内でカバーされていない地点への対応が求められる。					町HP公開や除雪出動の目安を目的に、画質の維持や観測結果の誤表示防止のため、必要に応じ機器の更新を計画すると共に、観測場所として必要と思われる場所の検討続ける。					

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	除雪情報システム管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,429,675 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			除雪車の運行管理システムを活用し現地在及び除雪経路等の確認、交通渋滞情報の提供等HPにて公開する。また、除雪費などの集計も行える。	除雪情報管理システムで車両に搭載するスマートホン83台及びタブレット4台を更新し、より安価な通信料体系に変更した。	事業実績		
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					除雪延長(監視延長)		
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	360	367	km	
災害時の活用方法の確立、及びシステムのカスタマイズ費用が課題					契約事務の効率化に向け、県の契約ファイルへの入力負担の軽減策を考察すると共に、県が試行導入している除雪情報システムとの将来的な統合の是非を検討していく。					

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	消雪施設改修事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,413,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			老朽化が進む散水式消雪施設の計画的な更新。	1路線の改修工事を実施した。	事業実績		
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					改修工事の延長/ 既存散水式消雪施設の延長		
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	270/4461	300/4461	m	
散水式消雪施設は昭和50年代より随時整備を行ってきたが、老朽化が進み、保守点検等実施しておりますが、散水の効率が低下している。					施設の老朽化により、修繕が必要になることから、計画的な更新工事を実施する必要がある。					